

菊連協 理事 各位
(写) 各町内会

作成日 : 令和8年1月20日
作成者 : 総務部事務局

菊連協 令和8年1月定例理事会 議事録 概要

日時:令和8年1月19日(日)10時～11時

場所:菊水地区会館

欠席:阪口、佐久間、岡田、牧野、宮野、小板谷

□の事項が協議のあった結果です。

I 行政からの連絡事項《伊勢所長から》

- ・住民組織の振興に対する表彰(市長・区長表彰)の推薦について
令和8年「行政懇談会」及び「連合町内会長懇談会」の開催について
～別紙資料のとおり
(その他)
- ・令和8年1月13日付け「新築共同住宅の建築主への協力をお願い及び町内会自治会への情報提供の開始について」
～通知文中「建築主が個人の場合、建築主情報は個人情報となるため取得することができません。」とあるが、建物が建設される等の情報も提供されないのか。
→(所長)関係部局に照会、確認したい。

II 議題

1 総務部より

(1) 蠣崎会長からの報告

①白石区町内会連絡協議会(1月定例会)内容について

- ・令和8年1月の協議会は開催中止です。
- 2月定例会は2月13日(木)開催される予定。

②コミュニティスクール(学校運営協議会制度)について

- ・第1回準備委員会(12月15日開催)の内容
【別紙を参照願います。】

- ・コミュニティスクール、以下CSと記載する。
- ・CSについてPTA会長の理解はどの程度なのか。→準備委員会における質疑に置いてはかみ合っていないように思われた。

- ・子供たちにとって、９年間に学校での教育の他に何を学んでもらうのか。やればやるほど目的がぼやけて行くのではないか。
- ・ＣＳは文科省からおりてきたと聞いているが、理念が分からない。何をどうするのか不透明な中でどう進めていくのかわからない。学校の基本方針があり、無理をしない程度に地域が協働して実施していくのか。島田校長からは、基本があって地域が協力し少しずつ進めれば良いのではとの感を受けた。
- ・ＣＳで事業を行う場合、市からの予算措置は無いものとするが、福まちやネットワークの活用も図ることができるのではないか。
- ・本日出された意見を踏まえて次回の準備委員会に望みたい。

(2) 令和８年度町内会加入世帯数について(令和８年１月１日現在数)

- ・ 令和８年度の住民組織助成金交付の算定基礎資料となります。

(各単町分を連町毎に集計)

連町名	令８申請世帯数	令７申請世帯数	申請数増減
東	１，５４８	１，５４８	０
西	４，４２１	４，３９４	２７
南	３，１８７	２，９７６	２１１
北	２，５４８	２，５２８	２０
上 町	７９２	７９３	▲ １
計	１２，４９６	１２，２３９	２５７

(3) 「町内会で抱える課題に関する意見交換会」について

- ・ 開催日: 令和７年１１月２８日(金) １３時３０分～１５時３０分

【開催状況は別紙のとおりです。】

- ・ 何らかのアドバイスを期待したが、通り一遍のものであり行政マンという感じがした。
- ・ 年に１度ではあるが町内会としての悩みや課題などについて意見を交わすことは良いのではないか。
- ・ 現行では町内会としているが、今後は枠を広げ福まちやネットワークを入れるなどして地域全体の課題や要望をおこなうものに変えても良いのではないか。

(4) 令和8年度菊連協定期総会開催日(案)について

- ・開催日 令和8年4月26日(日)14時～地区会館A・B会議室
- ・懇親会 定期総会終了後 菊水地区会館2階ホール
- ・当番連町 西町連合町内会

・開催日程(案) のとおり決定された。

(5) 令和8年度役員改選に伴う新理事(候補者)の選任について

・令和8年度は役員改選期となるため、各連町においては新理事3名(連町会長、女性部長、連町役員)の名簿を2月末までに提出していただき、3月の理事会で「役員」人事(案)を協議したいと思いますが如何でしょうか。

・2月定例理事会において、あらためて照会するが準備をお願いしたい。
また、外部理事の参画は有意義なものであり、円滑な運営に必要なことから引き続き役員の構成員とすることとされた。

2. 防災部より

- ・区役所からの防災関係予算の追加配分10万円があり(記配分額10万円、8年度は不明、前倒しの?)2月中に簡易トイレを購入し各連町に配分したい。
- ・2月の役員会は中止とします。

3. 女性部より

女性部長欠席により報告に無し。

Ⅲ 関連団体より

1. 菊水地区会館運営委員会から
報告事項はありません。

2. 菊水地区福祉のまち推進センターから

- ・2月14日に避難要支援の個別台帳の見直し等に関する研修会を開催する。
参加申込書を配布するので連町会長においてはとりまとめをお願いしたい。
まちセンへの直接申し込みも可能。
- ・「福祉サポーター証」名簿の調査をお願いしており提出にあたっては各連町でとりまとめをお願いしたい。
- ・2月の福まち役員会は2月10日13時30分から開催します。

3. まちづくりネットワーク会議から

- ・ 1月25日10時からスマホ教室を開催する、テーマはスマホを活用した院外処方について。
- ・ 2月19日(木)10時～定例役員会開催

4. 菊水地区民生委員・児童委員協議会から

- ・ 1月の子育てサロン参加者は34名
- ・ 民生委員について12月に一斉改選があり11名が新人となったが、代行がまだ2名おり何とか後任を探したい。
また、上町では3月をもって退任する方が2名おり、後任の適任者がいれば声をかけて欲しい。

5. 菊水地区青少年育成委員会から

- ・ 1月31日10時から上白石小学校グラウンドにおいて雪中運動会を開催する。
昨年は、約100名の参加であったが今年は200名を目指したい。

次回、令和8年2月定例理事会を2月8日(日)10時～如何でしょうか。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 2月8日(日)については衆議院選が実施されることから 2月11日(水・祝)10時～に振り替え開催することとした。 |
|--|

Ⅳ 今後のスケジュール

月 日	曜日	時刻	会議名等	場 所 等
1月21日	水	17:00	理事会会議録作成・配布	菊水地区会館
2月 3日	火	11:00	総務事務局会議	菊水地区会館
2月10日	火	13:30	福まち 役員会 菊連協 防災部会【中止】	菊水地区会館
2月11日	水	10:00	菊連協2月定例理事会	菊水地区会館
2月12日	木	11:00	理事会会議録作成・配布	菊水地区会館

白石区菊水町内会連絡協議会

《1月定例理事会》

日 時 令和8年1月19日（火）10:00～
会 場 菊水地区会館 会議室

○ 行政からの連絡事項

1 住民組織の振興に対する表彰（市長・区長表彰）の推薦について 【資料1】

資料1のとおりの方が年数要件を満たしておりますので、ご検討願います。推薦書等関係書類の提出期限は、2月27日（金）とさせていただきます。

2 令和7年「行政懇談会」及び「連合町内会長懇談会」の開催について 【資料2】

（1）「行政懇談会」

日時：令和8年2月5日（木）16:00～16:50

（2）「連合町内会長懇談会」

日時：令和8年2月5日（木）17:00～18:30

場所：札幌パークホテル 3階パークホール

出席予定者：蠣崎会長、岡田会長、佐藤会長、山内会長、永井会長

3 その他



コミュニティスクール準備委員会

幌東中学校 2F 会議室
16:00～

1 自己紹介（別紙 候補者一覧 参照）

○パートナー校○

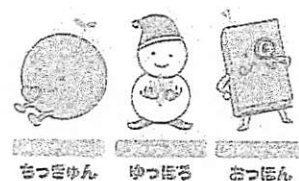
札幌市立幌東中学校
札幌市立幌東小学校
札幌市立東橋小学校
札幌市立上白石小学校

2 コミュニティスクールについて

3 次年度の予定

4 質疑応答

5 その他



◎委員候補一覧

	委員氏名	ふりがな	所属	備考
1	蠣崎 三憲	かきざき みつのり	菊水連町会長	地域
2	伊勢 亮子	いせ りょうこ	菊水まちづくりセンター所長	行政
3	松尾 知実	まつお ともみ	菊水やよい児童館館長	行政
4	片山 勝彦	かたやま かつひこ	菊水地区青少年育成委員会会長	地域
5	熊谷 圭悟	くまがい けいご	幌東中学校評議員	幌東中
6	吉村 綾子	よしむら あやこ	幌東中 PTA 会長	幌東中
7	島田 貴弘	しまだ たかひろ	幌東中校長	幌東中
8	縄野 範子	なわの のりこ	上白石小学校評議員	上白石小
9	坂田 暁洋	さかた あきひろ	上白石小 PTA 会長	上白石小
10	足立 教	あだち つよし	上白石小校長	上白石小
11	富野 真由美	とみの まゆみ	東橋小学校評議員	東橋小
12	中野 營久	なかの やすひさ	東橋小 PTA 会長	東橋小
13	渡辺 英明	わたなべ ひであき	東橋小校長	東橋小
14	鈴木 弘子	すずき ひろこ	幌東小学校評議員	幌東小
15	笠松 慶樹	かさまつ けいき	幌東小 PTA 会長	幌東小
16	涌井 摩知子	わくい まちこ	幌東小校長	幌東小

* 幌東中教頭 伊藤大輔 * 上白石小教頭 山中信明

* 東橋小教頭 北本泰司 * 幌東小教頭 井上徳文

令和7年度 コミュニティ・スクール準備委員会 議事録

日時： 令和7年12月15日（月） 16:00～

場所： 幌東中学校 2F会議室

欠席者： 東橋小学校PTA会長 中野誉久氏

次第：

1. 自己紹介
2. コミュニティ・スクール（CS）について
3. 次年度の予定
4. 質疑応答

1. コミュニティ・スクール（CS）の概要説明

島田校長より、配布資料およびリーフレットに基づき説明がなされました。

- CSの定義と目的
 - 学校運営協議会制度（CS）は、地域・保護者・学校が目標を共有し、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みである。
 - 学校と地域の架け橋となり、地域からのサポートを受けながら運営していくことを目指す。
- 主な活動内容
 - 4月に各校が打ち出す学校運営方針に対し、意見を述べ、反映させる。
 - 第2回協議会では、学校評価についても意見交換を行う。
 - 地域による学習支援（例：職業調べにおける人材派遣など）をいただくこともある。
- 運営方針
 - 他県で実施されているところでは、新しい活動が増えすぎたため、組織が機能しないところもでている。持続可能な無理のない取り組みとする。
 - 幌東中学校区内の3つのパートナー小学校から全児童が幌東中学校へ入学する特性を活かし、地域全体で「9年間の学びの連続性」を支える場としたい。

2. 次年度の予定

- 本格始動： 令和8年4月より。
- スケジュール：
 - 第1回（4～5月）：顔合わせ、学校運営方針の確認。
 - 第2回（2月下旬）：学校評価の交流。
- 留意点： 委員の負担を考慮し、活動内容は最初から増やしすぎないように配慮する。現在の地域と学校の取り組みは継続していく。

3. 主な質疑応答・意見交換

発言者	内容
上白石小PTA 会長	【質問】 委員の任命は教育委員会からか？ 【回答】 現在は準備段階。4月に改めて市教委へ申請し、決定される。
幌東小PTA会 長	【質問】 CSの理念はいつ決まるのか？ 【回答】 第1回学校運営協議会にて提示する。
菊水連合町内 会長	【意見】 地域役員の高齢化が進んでおり、新たな活動を増やすのは非常に困難である。参画はするが、実際の活動（実働）は難しいのが現状。若い世代へのバトンタッチを願っている。
幌東小PTA会 長	【意見】 CSは単に行事を行うためのものなのか。子どもたちの「楽しい」という思いを救い上げるような、前向きなCSであってほしい。
菊水地区青少年 育成委員会 長	【意見】 学校と地域の距離を縮める機会にしたい。子どもたちが大人になった時に、地元での経験を誇れるような支援を、9年間のつながりの中で充実させたい。
菊水連合町内 会長	【意見】 学校教育の内容に踏み込んで話を聞ける絶好の機会と捉えている。避難訓練などの活動を、地域・企業・学校が一体となって「菊水全体」で行っては、という思いでやっている。

令和7年度「町内会で抱える課題に関する意見交換会」開催概要

日 時 令和7年11月28日(金) 13時30分～14時30分
場 所 菊水地区会館 2階ホール
出席者 久保田白石区市民部長 星野白石区土木部長
森地域振興課長 鈴木維持管理課長
須田まちづくり推進係長 中澤維持係長
伊勢菊水まちづくりセンター所長
蠣崎菊水町内会連絡協議会会長 岡田菊水東連合町内会副会長
佐藤西連合町内会会長 山内菊水南連合町内会会長
永井菊水北連合町内会会長 林菊水3条1丁目町内会長
五十嵐サーム菊水町内会会長 秦菊水北第3町内会会長
佐久間菊水3条5丁目町内会会長 松本菊水5条1丁目町内会会長

【意見交換会要旨】

(1) 町内会活動のなり手不足について

なり手不足の一因として、町内会役員になると、行政からの依頼事項・各種団体の役員との兼務等で時間をとられるので係わりたくないと考えている人が多い。

行政からの依頼事項の削減することで、単位町内会のしごとに専念出来るような状況にしたい。

また、半強制的な役員就任の心理的負担、高齢化の進行、若い世代の無関心など多くの課題があるが行政としての対応について伺いたい。

(白石区)

- ・白石区だけではなく、他の地域からも話は出ている。

現在、市長をトップとして関係するメンバーが集まり対応の検討を進めている。コロナを契機として、具体的に出来ることとして会議の簡素化や書面会議の開催、会議の構成員が重なる会議の同時期の開催等効率的な実施について検討している。人口が減少していることから、会議の構成員について地域で働いている方や学生の方々も対象とするなどして取り組んでいる。

- ・類似の会議を統合してはどうかとの意見もあるが、それぞれの委員の思いもあり簡単ではないが議論を深めているところ。

(菊連)

- ・町内会の役員をやっても良いという人もいるが、いやだとする大きな理由は付帯する様々な役職就任を求められること。菊連は菊連、連町、単町と3段階になっており、町内会だけで月3回の会議があり、更に福まちやネットワーク会議など他の団体の役員と兼務になり会議だけでも月10日は拘束される。似たようなものがあればスリム化やまとめることが出来ないものか。市から様々な役員の推薦依頼があ

るが、今までは何とかしなければならぬとの使命感もあったが、対応できない時には断れる旨明文化されるとありがたい。協力出来ない事も有ることをご理解いただきたい。

- ・行政と町内会は同等ものと考えて良いか。民生委員の選任等にあって上からの強制的な者を感じる。
- ・就労年齢の高齢化など働き方が変わってきた中でのなり手不足に関して、町内会の運営について行政側でカバーするようなシステムを作らなければ維持が難しくなるのではないか。
- ・マンション町内会であるが、アンケートでは町内会の必要性は極めて低いと思っている者が大半であり、市においては現状を把握したうえで対応してもらいたい。
- ・地域全体を見た時、マンション町内会と戸建てを中心とした単位町内会はそれぞれの役割があり町づくりに係わる意義も異なる。

(白石区)

- ・民児協と福まちは似ている所もあるが、法律に基づき設置しているものもあり、白石や菊水だけで出来るものではない。
- ・現状で出来ることは、人材が以内場合の明文化、可能な限り会議の効率化を図るは考えられる。提案の趣旨は理解した。

(2) 町内会加入促進について

- ① 賃貸マンションの未加入物件については、町内会として入会のお願いをしているが、中々管理会社の協力を頂けない。特に非協力的な管理会社については行政から強力に指導して欲しい。(例 アパマン、土屋不動産)
- ② 月極・時間貸し駐車場については、近年、空地を駐車場にする傾向があり増えている。今期上期に当連合町内会で町内会加入のお願いをして一部加入して頂いたが、まだ管理会社や地主の意識は低いので、行政からも加入について要請など出来ないものか。

(白石区)

- ・令和5年に不動産事業者働きかけを行ったが、本社指示があれば対応するとの反応があったと聞いている。
- ・札幌市としてそは、地主やデベロッパーの動向を先取りし、情報提供できないか取り組んでいる。

(菊連)

- ・市と不動産事業者がパートナー協定を結び協力企業としてホームページにも企業名がのっているが企業内の末端まで伝わっていないと思われるところがある。企業の宣伝材料として使われているだけではないか。会社によっては営業によって判断が異なると思われる。年1回社内教育の実施など踏み込んだ指導はできないものか。

・令和5年に不動産事業者に働きかけを行ったとのことだが今後も継続性をもって対応されたい。

(菊連)

・近年、空地のほとんどが駐車場になっているが、市では町内会加入についてアクションを起こされているのか。

(白石区)

・駐車場に特化した対応はしていない。

(菊連)

・西連として町内会加入を働きかけ、本州系の会社については対応されたが、道内系についてはダメだった。今後も駐車場の増加が考えられ、機会があれば市のアクションとしてお話しいただければありがたい。

(3) 連合町内会脱会単位町内会について

これまで、何らかの理由で連合町内会を脱会した単位町内会がある。脱退後の復帰について活動を行っているが難しいものがある。効果的な解決策についてお伺いしたい

(菊連)

・連町を脱退した町内会について脱退後も避難訓練の参加や行事の案内など働きかけを行っているが復帰に向けては思うように進んでいない。行政も考えに入れてやっていただけないものか。

(白石区)

・市で行っている町内会アドバイザー制度を活用されてはどうか。

(4) 菊水西町集会所の閉館に伴う新たな集会所の要望と青葉保育園跡地の活用について (2031年閉園)

西町集会所は、当連合町内会はもとより加入町内会や地域各団体などが利用している。2031年に閉館になると町内会・地域各団体の活動拠点が無くなると地域社会の中で、コミュニティを構成する場が無くなるので、閉館までに新たな集会施設のご提案をいただきたい。

又、青葉保育園閉園後の跡地について、市はどのように考えているのか。跡地の活用については町内会とも協議してほしい。(一部の土地は、地域住民が寄贈した土地が含まれている。)

(白石区)

・跡地利用検討の進め方についての町内会の要望は関係部局に伝えてあり良い活用が出来よう率先していきたい。

(菊連)

・青葉保育園が閉園になれば菊水地区が公立の保育園等が0になる。菊水地区は人口が増えており、若い人も入ってくる。今後入園が必要な子供たちは何処へ行くのか。

(白石区)

・公立100%でやる時代ではない。周辺に民間施設もある。

(菊連)

・跡地利用の検討にあたっては地元町内会の参画させて欲しい。隣接の公園は祭り等の会場となっており、今後マンションなどが建てば行事が出来なくなる。市に対して菊連と西連の

連名で要望書を提出したいのでご配慮願いたい。

(5) 菊水神社について

菊水神社の歴史を鑑みると、すすきのから遊郭が菊水に移転に伴い稲荷神社の分院として当地域に立てられた。管理はいろいろ変容しながら、現在は、菊水神社保存委員会で管理している。地域の歴史的文化財として残していくためには、行政の何らかの支援はいただけないか。

(白石区)

・現状では、国の指定文化財に対する補助はあるが、その他は無い。

(菊連)

・歴史的な背景もあり、文化的遺産として札幌市の何らかの支援がないものか。何とかお知恵をお借りしたい。

(6) 除排雪について

今年度もパートナー排雪を継続するとの報道があったが、次年度以降はどうなるのが。又、道路幅を狭めて実施する生活道路の排雪作業について連合町内会単位に範囲を広げて実施するとの報道があったが具体的にどのようなことなのか。

(白石区)

・札幌市として、大きな方向性を検討している。

背景としては、宅配サービスや在宅介護の増加などライフスタイルが変化し、生活道路の除雪ニーズが高まる一方、除雪事業者の高齢化や担い手不足が課題となっている。更には、除雪のレベルアップを図れば経費が増加する。このため、持続可能な雪対策ができないものか、雪対策審議会を設置し議論を重ねているが、今後も引き続き十分な意見交換や議論、検討を重ねていく。

(白石区)

- ・パートナーシップについては12月に文書でお知らせするが令和8年度継続し、9年度以降は未定である。
- ・議論の中では色々な意見があり、市民の合意を得るためどのような方向性にするかには時間がかかる。

排雪方法の試験施行については今シーズン厚別区、清田区で実施するがパートナーシップ排雪との違いは道路単位で直線で排雪することとなる。

- ・清田、厚別全域とした場合、これまでパートナーシップで実施してこなかった地域も排雪することとなり、効率化しても限られた体制の中で限界がありパートナーシップと同水準での作業は難しいと推測されることから作業する道路の幅を狭めるなどの対応をとる。

(菊連)

- ・試験施行は来年度以降拡大していくのか。

(白石区)

- ・実施にあたっていは、全域、雪の多いところ道路の狭いところ等いろいろな意見があるが、試験施行を重ね新たな地域を考えていきたい。

(菊連)

- ・パートナーシップを止めて市の予算ですべて行うという流れがあるのか。

(白石区)

- ・新聞報道もあり、すべて公共で実施すると思われる方も多いのかと思うが、何も決まっておらず、パートナーシップを継続していくこともある。どちらが良いのか検討しているものでありまったくわからない。パートナーシップは平成4年度から始まったが負担については市7町内会3の割合で市が多くなっているが負担は据え置きとなっている。

(菊連)

- ・パートナーシップである程度負担しても生活道路の確保を維持することは考えていかなければならないのではないかと。今朝の新聞に出ていたが、札幌市の除排雪費用は旭川など他と比べて高いとなっている。何が違うのか。

(白石区)

- ・推測ではあるが、除雪費用はさほど変わらない。札幌市は人口密度が高いことから排雪回数を多くしなければならないのではないかと。

(菊連)

- ・パートナーシップの負担について、町内会加入、未加入にかかわらず一律負担することも考えられないのか。選択肢に入れて検討頂けないか。
- ・除排雪について市が人員を育成し直営として実施できないか。

(白石区)

- ・過去には、土木管理員を置き札幌市が所有する機材により幹線道路の除雪排雪を行っていた(生活道路は民間)が定数削減などにより復活しようにもなり手がいない。

(菊連)

- ・除排雪経費は今後も高騰すると考える。札幌市の除排雪道路の延長は世界一、単位当たりの費用も世界一であり、この状況を全国に発信しクラウドファンディングなどを活用できないか。
- ・青葉保育園裏道路を舗装してもらったが高低差が大きく傾斜している。除雪の際も心配である。

(白石区)

- ・付近の民家の周辺状況に合わせて施行しておりご理解願いたい。

(菊連)

- ・意見交換会は今回で5回目となるが、テーマは回を重ねるごとに絞られ 継続的な課題も多いが、直接意見を交わすことが出来る貴重な場として来年度も引き続きお願いしたい。